

## 議 事 録

会 議 の 名 称	第 1 3 回玉里地区小中一貫教育学校建設準備委員会																																																				
開 催 日 時	平成 2 9 年 9 月 2 7 日 (水) 1 9 時 0 0 分～																																																				
開 催 場 所	玉里保健センター 1 階 集団検診室																																																				
出 席 者	<p><b>【出席委員】</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>戸田 大我</td> <td>大平 勇一</td> <td>小山田香代</td> <td>竹田 武美</td> </tr> <tr> <td>伊藤 岳快</td> <td>久保田浩一</td> <td>梶原 恵美</td> <td>戸田 見良</td> </tr> <tr> <td>額賀 博</td> <td>長谷川美智子</td> <td>田中 周</td> <td>園部 文夫</td> </tr> <tr> <td>塚本 繁雄</td> <td>圓尾 康子</td> <td>高野 郁</td> <td>田山 恵子</td> </tr> <tr> <td>羽鳥 文雄</td> <td>稲田 雅志</td> <td>大島 利則</td> <td>鶴町 文男</td> </tr> <tr> <td>長谷川忠徳</td> <td>亀井 優</td> <td>藤田 泰正</td> <td>大槻 良明</td> </tr> <tr> <td>大山 徳</td> <td>荒井 敦</td> <td>相澤 博文</td> <td>青木 寿美</td> </tr> </table> <p><b>【欠席委員】</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>原田 和雄</td> <td>鈴木 秀和</td> <td>夏井 義一</td> <td>小川 和美</td> </tr> <tr> <td>白井 律子</td> <td>田上 義明</td> <td>室町 弥</td> <td>大和田智弘</td> </tr> <tr> <td>戸田 見成</td> <td>長谷川倫彦</td> <td>小沼 卓実</td> <td></td> </tr> </table> <p><b>【事務局】</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>加瀬 博正</td> <td>長津 智之</td> <td>石田 進</td> <td>中村 均</td> </tr> <tr> <td>吉永 成範</td> <td>植田 薫</td> <td>外之内信浩</td> <td>内田 真基</td> </tr> <tr> <td>戸塚 聡</td> <td>田村 直弥</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	戸田 大我	大平 勇一	小山田香代	竹田 武美	伊藤 岳快	久保田浩一	梶原 恵美	戸田 見良	額賀 博	長谷川美智子	田中 周	園部 文夫	塚本 繁雄	圓尾 康子	高野 郁	田山 恵子	羽鳥 文雄	稲田 雅志	大島 利則	鶴町 文男	長谷川忠徳	亀井 優	藤田 泰正	大槻 良明	大山 徳	荒井 敦	相澤 博文	青木 寿美	原田 和雄	鈴木 秀和	夏井 義一	小川 和美	白井 律子	田上 義明	室町 弥	大和田智弘	戸田 見成	長谷川倫彦	小沼 卓実		加瀬 博正	長津 智之	石田 進	中村 均	吉永 成範	植田 薫	外之内信浩	内田 真基	戸塚 聡	田村 直弥		
戸田 大我	大平 勇一	小山田香代	竹田 武美																																																		
伊藤 岳快	久保田浩一	梶原 恵美	戸田 見良																																																		
額賀 博	長谷川美智子	田中 周	園部 文夫																																																		
塚本 繁雄	圓尾 康子	高野 郁	田山 恵子																																																		
羽鳥 文雄	稲田 雅志	大島 利則	鶴町 文男																																																		
長谷川忠徳	亀井 優	藤田 泰正	大槻 良明																																																		
大山 徳	荒井 敦	相澤 博文	青木 寿美																																																		
原田 和雄	鈴木 秀和	夏井 義一	小川 和美																																																		
白井 律子	田上 義明	室町 弥	大和田智弘																																																		
戸田 見成	長谷川倫彦	小沼 卓実																																																			
加瀬 博正	長津 智之	石田 進	中村 均																																																		
吉永 成範	植田 薫	外之内信浩	内田 真基																																																		
戸塚 聡	田村 直弥																																																				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体配置計画(案)について</li> <li>・玉里地区小中連携・小小連携推進委員会の経過について</li> </ul>																																																				
会 議 資 料	別 紙 ( 会議次第、他 )																																																				
記 録 方 法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録																																																				
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開    (傍聴者 0人)																																																				

【協 議】

(1) 全体配置計画（案）について

委員長 この建設準備委員会も今回で13回目となった。今回決めていくことは、校舎、その他の施設の配置。前回の準備委員会では、事務局からA～D案の4つの案が出され、D案の方向とすることに決まった。検討事項がいくつかあるので後ほど説明いただく。まず、今日の会議の流れについて、事務局より説明願いたい。

事務局 前回の建設準備委員会においていただいた9つの意見について検討し、改良案を作成した。まず、それについて青山建築設計事務所から説明を行う。説明の後、小学校区ごとにグループ協議を行っていただきたい。今回は配置案の決定となるので、資料1-1、2が主となる。資料1-3の平面図、1-4の立面図、1-5のイメージ図に関しては、配置をイメージしやすくするために用意したものとなっている。それらは次回以降に詳細な協議をしていただく内容となるので、今回は参考としていただきたい。また、グループ協議の後、グループ毎の発表を行っていただきたいと思う。

そして、議事終了後には、玉里地区小中連携・小小連携推進委員会の経過についての報告を予定したい。

では、改良案について、青山建築設計事務所から説明させていただく。

資料1に基づき、青山建築設計事務所より説明

青山建築 資料1-1から説明したい。この資料は、前回の建設準備委員会で決定したD案と検討事項及び改良案を重ねた資料となっている。右下に9つの検討事項、右上には凡例を記載し、凡例中の左側が原案、右側が改良案としている。D案との変更点としては、まず、広いグラウンドを確保するため、新校舎をできるだけ水平となるように移動した。図面では、赤太線中に斜線で表記した箇所となっている。次に、既設体育館からグラウンドにかけ、各エリアを直線上に繋ぐ道を配置し、駐車場からの円滑な動線を確保した。図面では、緑太線の破線で表記した箇所となっている。その道に接するように駐車場や児童クラブを配置することにより、明確なエリア分け、安全の確保をしている。続いて、道路沿いに配置していた駐輪場をその位置より北側へ移動した。図面では、黒太線中に斜線で表記した箇所となっている。以上がD案から検討事項を踏まえて改良した案の大きな変更点となっている。

続いて、資料1-2をご覧ください。改良案は、道路側の正門やグラウンドを見守ることができる位置に管理エリアを配置し、各エリアを整理することで、検討事項を満たす配置案となっている。右下の検討事項をご覧ください。また、配置図に番号を記載しているので、併せてご覧ください。

い。

検討事項1「昇降口の位置」、新しく計画したアプローチ、既設体育館からグラウンドにかけ、各エリアを直線上に繋ぐ道に接するように配置した。新正門と駐車場の両方からの動線が短く、シンプルなものとなるように計画した。

検討事項2「小体育館の階数」、1階にミニバスケットコート1面、一部2階にギャラリーやプレイスペースとして利用できるスペースを想定している。

検討事項3「現玉里中学校と玉里小学校間の移動についての安全対策」、現在、協議中ではあるが、信号機の設置を検討している。

検討事項4「バスロータリーの大きさ、車両出入口の大きさ」、この配置案ではロータリーを配置していないが、駐車場エリアのスペース内で大型バスが利用できるような車道幅や待機スペースを配置可能としている。今後の計画決定に対し、柔軟に対応できる配置計画としている。

検討事項5「グラウンドを大きくするための配置の工夫」、資料1-1で説明したとおり、校舎をできるだけ水平に配置し、グラウンド面積を確保した。

検討事項6「自転車用出入口の設置」、配置図上では、横断歩道付近に設置した。管理のしやすさに配慮し、駐輪場を新校舎裏としている。現在、この位置には既存校舎が建っているため、開校には間に合わないこととなる。そのため、新しい駐輪場が完成するまでは、既設駐輪場を利用することを想定している。

検討事項7「校舎建設中のグラウンドへの通路等、安全対策」、工事期間中は、既設校舎と既設体育館の間を通るような動線計画とし、可能な限り工事エリアを下げ、より安全な工事を目指したい。

検討事項8「休み時間等において児童と生徒が交錯しないような安全対策」、安全にグラウンド利用ができるよう、学校内のルールを作るなど、ハード面での対策ではなく、運営による対策とすることを想定している。

検討事項9「体育館への渡り廊下と給食搬入車両の交差への対策」、資料1-1でも説明したが、駐車場側に給食搬入出入口を配置することで、児童生徒と車両動線が交わらないように計画している。

今後、各種については、順次詳細を詰める予定となる。

続いて、資料1-3をご覧いただきたい。配置計画を行う上で、どのような平面構成となりえるか仮定した平面計画案となっている。図面は、普通教室エリア、特別教室エリア、管理エリアを色分けし、明記している。この案を基に教職員の意見をいただきながら、基本設計を進めていきたいと考えている。

続いて、資料1-4をご覧いただきたい。立面計画案となっている。現在の配置、平面計画を反映したものとなっている。建物は既存校舎と同じ高さとし、新校舎とグラウンドの間を法面とする計画としている。新正門から緩い

坂道のアプローチとなっており、昇降口が見えるようにしている。この案を基に様々な意見をいただきながら、学校としての景観を表現していきたいと考えている。

続いて、資料1-5をご覧ください。立面計画案のイメージ図となっている。上段が新正門からのイメージとなっている。左手がグラウンド、中央の緩い坂道の上に昇降口及び中央棟、その奥に普通教室棟、中央棟の手前に管理・特別教室棟となっている。下段が現在の正門、駐車場付近からのイメージとなっている。左手に管理・特別教室棟、右手に既存体育館、中央に渡り廊下及び小体育館、小体育館の奥に普通教室棟となっている。配置計画の変更に伴い、今後、デザインや機能性に配慮しながら検討していきたいと考えている。

委員長 補足説明はあるだろうか。

事務局 検討事項3「現玉里中学校と玉里小学校間の移動についての安全対策」について補足したい。登下校では、玉里小学校区の児童や玉里中学校生徒の横断が考えられる。課外活動では、部活動を玉里小学校側で行う予定である野球部やテニス部の横断が考えられる。安全対策としては、現在、石岡警察署と押しボタン式信号機の設置に向けて協議を行っている。しかし、信号機の設置のみで万全の安全対策とは言い切れないので、教職員で構成している玉里地区小中連携・小小連携推進委員会や建設準備委員会において、地域や教職員の立哨活動などのソフト面について検討いただき、万全の安全対策の協力を進めていきたいと考えている。

委員長 グループ協議に入る前に全体で確認しておきたいことがあれば、お願いしたい。

委員 基本構想においてA、B、C案を作成した際、B-①案はグラウンドが狭いといったことがあり、それについては今回対応できた。ただ、工事中の騒音対策が残っていると思う。新校舎建設時や旧校舎解体時の騒音対策や安全対策を相当しっかりやらないとならない。この図を見ると、既存校舎と新校舎の距離が非常に近くなっている。それを十分に行うことをお願いしたい。

青山建築 新校舎建設中と既存校舎解体中だが、生徒もしくは児童生徒がいる中での工事となるため、近い距離にある部分については、防音パネル等を設置するような考えで進めていきたい。

委員 それを行うことによって、どのくらいの騒音で抑えられるのかといったことを数字としてきちんと行わないとならないと思う。騒音対策を行ったが、抑えられなかったという工事も世の中で見られる。非常に距離が近いので心配している。

青山建築 グラウンドを広くすることや将来的なこと、既存校舎と新校舎の距離など、様々なことを考え、そういった工事対策もしっかりやっていきたいと思う。

委員 改良案は、校舎が水平になっていない形になっている。場所を広くするためなのか、見栄えという点なのか。

- 青山建築 教室をなるべく南に近い方へ向けるため、一部の校舎を曲げている。  
委員 見た目は大丈夫か。変なようには思われぬか。  
青山建築 そうならないようにデザインを組み立てていきたいと思っている。  
委員 玉里小学校側への横断に関する安全対策について。以前から陸橋を造るといった案が出ていた。そういったの言葉が一切出ていないが、最初から諦めているのか。  
事務局 先ほどの説明の繰り返しになってしまうが、信号機設置について警察署と協議を重ねているところ。想定している場所は県道の信号機と距離が近く、設置がなかなか難しいかと思っていたところ、信号機の設置を前向きに検討していただけたということだった。押しボタン式信号機ということなので、歩行者用信号機も設置される。また現在は、先生が立哨等を行っているので、そういったソフト面で安全対策できると良いと考えている。  
委員長 グループ協議に入るが、協議内容については、校舎の配置についてとなる。各グループの教頭に司会していただいて協議をした後、教務主任にどのような意見が出たのか報告願いたい。

－ グ ル ー プ 協 議 －

- 委員長 各グループで協議されたことを発表していただく。まず、玉里小学校区お願いしたい。  
委員 まず、校舎の向きについて話し合いを行った。校舎の向きは、新たな資料の計画どおりで良いのではないかという意見が多数出た。ただ、バスに関するスペースについて意見があった。渡り廊下をもう少し西に動かすと、たくさんのバスが入ることができるスペースが生まれるのではないか、そのスペースの有効活用をすべきではないかという意見が出た。  
委員長 次に玉里北小学校区お願いしたい。  
委員 全体的な意見としては、お願いしたことが修正されている、自動車、自転車、歩行者の交差がなくなっているのではないかという意見が出た。イメージできなかったという意見が出た箇所が普通教室エリアの前、グラウンドに面した部分。右側の昇降口は法面になるのではないかというイメージがあるが、昇降口の左がどうなるのかイメージがつきにくいということだったので、補足していただけるとありがたい。また、職員室の広さについて。7.5mの広さがあるが、机や椅子を置くことや、実際に職員室で会議をする時に学年区分に応じて4-3-2で分けることなど、使い勝手がもう少し良くなるような広さがあると良いのではないかという意見があった。それから教室の広さについて。普通教室が3階まであり、1階が主に1年生、3階が7、8、9年になるのではないかというイメージだが、1年生と9年生の教室の広さを同じに考えているか、あるいは学年が上がることにしたが、多少は広くなるという考えなのか。教室が大きくなると低学年にとっては広すぎる、逆

に小さくなると高学年にとっては狭くなってしまふ。そういったことを考慮すると大丈夫だと思ふといった意見があつた。また、PTAが使える会議室が図面に入っていないが、そういった位置付けの会議室があるとありがたいという意見があつた。

委員長 玉里東小学校区、お願いしたい。

委員 設置する信号についての意見が多く出た。信号設置を想定している場所は坂道を上ったところとなっている。背の小さい児童などが登校してくる際、押しボタン式信号が青に変わった時に反応できるかといったことや、スピードの問題などがあるので、信号に予備灯などをつける必要があるのではないかという意見が出た。また、採光に問題がなければ、既設体育館と小体育館、管理・特別教室エリアが平行となっているので、普通教室エリアも平行となる向きとし、直線上に配置できるようにすると、給食室からの配膳のしやすさといった面でメリットが大きい、美的にも良いのではないかという意見が出た。それから、既存校舎の解体後となるかと思うが、駐輪場と駐車スペースの間に柵などの設置をすると、安全確保ができるので、そういったことも少し考えてほしいといった意見が出た。

委員長 歩道橋の話が出たが、現在の状況としては、登下校は複数の教職員が横断歩道について見守りを行つて、子供たちが道路を渡っている。新しい学校になったら、基本的には中学校側での活動が中心となる。小学校側を部活動で使用する部の現在の人数は、野球部が10名程度、テニス部が15名程度、合わせて25名程度となっている。その子達の移動として、押しボタン式信号と横断歩道を設置していただけるということであれば、今の状況においては賄えるのではないかと思う。後ほど、色々と意見いただいて検討していきたいと思う。

## 【報 告】

### (1) 玉里地区小中連携・小小連携推進委員会の経過について

委員長 教職員で玉里地区小中連携・小小連携推進委員会を設置し、協議や研修をしている。それについて、副委員長から報告をお願いしたい。

「玉里地区の小中連携・小小連携の取組」、資料2-1、2、3に基づき、副委員長より報告

副委員長 昨年度から携わっている委員にとっては、以前聞いた話になってしまうが、今年度から携わっている委員もいるので、改めて簡単に説明したい。教職員は小中合同で様々な活動に取り組んでいるが、資料2-1がグラウンドデザインの原案として、昨年度から検討しているものになっている。現在、それ

それぞれの学校においても、このようなグラウンドデザインがあり、これは新しい学校の開校時に基となるものとして作成している。学校教育目標や経営の方針、めざす学校像、児童生徒像、教師像といったことを大まかに説明するためのものになっている。中段付近、3つに分かれている箇所、「確かな学力の向上」、「豊かな心の育成」、「健康・体力の育成」とある。よく言われる「知・徳・体」の取組が掲げられている。これを今後の学校経営の柱と考えているところ。本年度これに基づき、どのような取組をしているかということ話を話したい。

資料2-2、3をご覧ください。資料2-2は、「知・徳・体」の3つのプロジェクトに教職員が分かれて活動する組織図となっている。この組織に分かれ、資料2-3のように平成27年度から具体的に話を進めている。資料2-3の表においては、中ごろの網掛け部分が今年度となっている。また、来年度は、文科省で改訂される学習指導要領の移行期間となっており、先行実施としてスタートする。学校現場にいる者も、その新しい学習指導要領を先取りしながら、「知・徳・体」に分かれて、取り組んでいこうということで具体的に活動している。

では、「玉里地区の小中連携・小小連携の取組」の資料に戻っていただきたい。「2 今年度の取組」、(1)については先ほど簡単に説明したので、(2)をご覧ください。本年度4月当初に校長、教頭、教務主任、研究主任が集まり、大まかな今年度の取組について相談した。それを受け、(3)夏休み中の研修、学びのプロジェクトがメインとなるが、福井大学大学院准教授の小林先生を招き、今後の学びのスタイルといったことについて研修を深めた。また、(4)その他として、教職員、児童生徒同士の交流を活発に進めている。1つ目、学校間の相互参観として、算数・数学科を中心に進めている。それぞれの学校で授業研究会があった際、積極的に先生達が参観し合いながら、研究を深めたいとして取り組んでいる。2つ目、合同のあいさつ運動として、今年度は11月7日から9日の3日間に1中3小で設定した。玉里中の1年生が各小学校に分かれ、合同であいさつ運動を実施したいと考えている。3つ目、部活動見学については、例年行っている内容を充実させていきたいと考えている。それから、今年度からの新たな取組が3つある。1つ目は、既に6年生が行ったが、3小合同遠足に取り組んでいる。5年生は自然教室の中で交流を深めているので、遠足は実施しない方向だが、明日28日には低学年、明後日29日には高学年において実施予定となっている。2つ目、来月31日、4校合同の引渡し訓練を行う予定となっている。既に先日、テストメールなども行い、準備を進めているところ。そして、3つ目として、「ようこそ先輩」という取組。玉里中の1年生が各小学校の卒業間近になっている小学6年生に助言をするという内容であり、小中連携を充実させていこうと思っている。今後については、資料に挙がっているような課題がまだまだあるので、それぞれの教職員が情報共有や課題対策を取りなが

ら、少しでも充実させていきたいと考えている。

委員長 本日のグループ協議において色々と意見が挙がったが、建設の参考にしていただくということとしたい。次回は平面図の協議にも入っていくことになるが、既に教職員対象のアンケートが実施されている。現在は、各教科の担当等がアンケートに回答し、集約して教育委員会に送ったところ。次回はそういったところも示されるかと思う。閉会の前に次回のことも含め、事務局からお願いしたい。

事務局 本日は、配置図を提示した改良案とするという方向性をいただいた。また、いくつか課題をいただいたので、検討したい。検討の結果、若干の変更が出る可能性はあるが、今回提示した案で進めさせていただく。なお、委員長からあったように、平面図に関しては、教職員の意見を十分に聞き、次回はそれを反映したものを提示したいと思う。また、開催時期は、年間スケジュールのとおり11月下旬とし、平面と立面、仕上、構造、外構、設備などの案を提示し、意見をいただきたい。

20:08 閉会